

世界の民話のおもしろさをしようかいしよう

木かげに「ころり」 (朝せん半島)

めあて

「木かげに「ころり」しようかいカードに、木かげののびについて書こう」

夏 ← 秋

場面がかわっていく

真夜中	そのうち	夕方になると	秋風がふきはじめたところ	また一月ほどたった夕方	それから一月ほどたった夕方	ある夏の日	時を表す言葉
見えない	上まで	板の間まで	中庭まで	中庭まで	門の前まで	広場まで	木かげののび

木かげ だんだんのびていく

広用紙に書いて、次の時間でも活用する。

木かげがのびていく絵を貼る。

学習したこと

(季節を表す言葉・時間を表す言葉) に気をつけて読むと (場面) を分けることができる

時を表す言葉と木かげの伸びの関係を一文にしています。

- だんだん木かげはのびていきました。
- 秋が深まるにつれて、木かげはのびていきました。
- 夏から秋になるにつれて、木かげはのびていきました。

☆あらすじ (みんなのお話です)

【3 / 9 時間目 指導略案】使用するワークシート：③ 紹介カード (木かげに「ころり」) 活動のねらい

木かげの伸びと時の移り変わりを関係付けて読むことができるようにする。

1 音読をして時と木かげの伸びがわかる言葉をさがす。

- (発問) 時や木かげの伸びがわかる言葉はどれでしょうか。
- 時の変化を表す言葉と、木かげの伸びがわかる言葉を抜き出して、ワークシートに貼らせる。

2 時と木かげの伸びの関係について考える。

- 発表させ、時系列に広用紙に書いていく。黒板には木かげの絵も一緒に提示する。
- 時間で文章を区切ると、場面ごとに分けることができることを押さえる。
- (発問) 時と木かげはどのように変わっていったでしょうか。
- 木かげがどうなっていたか考えさせ、数名に発表させ板書する。
- 二つの関係を表現するのに適した言葉には赤線を引く。
- * 季節が夏から秋に変わるにつれて影が長くなることについては、子どもたちに考えさせる必要があるでしょう。秋になると影が長くなるというのを上手に利用したところにこの民話のおもしろさがかくれています。

3 「木かげに「ころり」しようかいカードに、木かげの伸びについて書く。

- 板書を参考にして、適切な言葉を選んで書くように促す。
- 【評価】木かげの伸びを時間の経過と関係付けて読むことができる。

4 本時を振り返り、次時について知る。

- 場面の移り変わりを、季節や時間を表す言葉から読み取ったことを振り返らせる。
- 次時は、登場人物について学習することを知らせる。